



久山中学校だより



令和6年5月1日発行 第2号

令和6年度久山中学校の本格始動 ～第78回入学式の挙行～

4月10日(水)、柔らかな日差しが春の心地よさを伝える中、久山町町長 西村 勝 様、久山町教育委員会 教育長 重松 宏明 様をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席のもと、令和6年度第78回入学式を挙行了いたしました。新入生108名は、やや緊張の面持ちでしたが、それぞれ中学校生活への期待を入場する姿で、自己実現に向けた強い決意を式に臨む姿勢で表現しました。



【入学式の新入生の表情】

来賓祝辞では、町長 西村様から「挑戦することと諦めないことの大切さ」が、教育委員会告辞では、教育長 重松様から「輝く人になるために取り組むべきこと」についてお言葉を賜りました。式辞では、校長から久山中学校の伝統である「生徒四訓」について話をしました。

<式辞から(一部抜粋)>

昨年全日本剣道選手権を制した棗田 龍介(なつめだ りゅうすけ)さんは、現在世界剣道選手権出場に向けて挑戦しています。彼の剣道のモットーは基本に忠実であること。ここで言う基本とは、構えた状態からそれを崩さず間合いに入って打突するという剣道のことです。棗田さんには苦い経験があります。昨年の全日本選手権の準決勝で勝負にはやっつしまい、何度も面を狙いますがあごが上がってしまい、竹刀に思うように体重が乗らずなかなか一本が取れませんでした。基本に忠実な剣道ができない。このときの悔しさが基本を徹底する今の稽古に生かされ、着実に成果をあげていると彼は言います。

さて、皆さんの基本の話に立ち返りましょう。本校には、創立以来の生徒の基本「生徒四訓」があります。「挨拶」「黙働清掃」「言葉遣い」「身だしなみ」の四つです。これらを大切にすること、基本に忠実であることが、学習や生徒会活動、部活動の頑張りにつながります。何より、仲間や地域の方から信頼され、慕われることに繋がります。皆さんが久山中学校の基本である「生徒四訓」を忠実に守り、成果をあげ、中学校生活をより充実したものにするのを期待します。

これらのお祝いや激励に、新入生代表の中園 心絃さんは、誓いの言葉の中で次のように力強く意思表示しました。

<新入生誓いの言葉から(一部抜粋)>

ここに座っている108名は、山田小学校、久原小学校から集まったかけがいのない仲間です。これから始まる中学校生活を仲間とともに信頼し合い、支え合って歩んでいきます。そして良い先輩、先生方に指導を仰ぎながらどんな困難にも立ち向かっていきたいと思います。

私たちは久山中学校の校訓である、自主創造の精神を忘れず、大きな夢と希望を心に抱き、仲間と共に充実した中学校生活を送ることをここに誓います。



【新入生誓いの言葉の様子】

ここに新入生を加えた310名が勢揃いし、令和6年度久山中学校が本格始動することとなります。新入生一人一人は、これから夢と希望を実現させるべく努力を惜しまず前進してくれるものと確信します。地域の皆様、保護者の皆様、彼らの奮闘と健やかな成長をご支援いただきますようお願いいたします。

異学年交流の場の充実 ～新入生を迎える会の実施～

4月12日(金)に、生徒会主催で、新入生に久山中学校の生活や生徒会活動の見通しを持ってもらうこと、本校部活動の活動を伝え、入部する意欲を高めることを目的に「新入生を迎える会」が行われました。生徒会役員や各部活動の部長の説明と指導により、新入生は少しずつ生徒会活動や部活動について理解するとともに、生徒四訓「挨拶」「黙働清掃」「言葉遣い」「身だしなみ」を守ることが大切な理由をつかむことができました。

～明るく元気な挨拶をするといふこと～

- 1 気持ちの良い一日を送ることができる
- 2 笑顔になる機会が増える
- 3 人間関係が良くなる
- 4 会話のきっかけになる
- 5 人との関わりが増える

【新入生に指導した内容の1つ】

本校では、このように上級生が下級生を指導したり、上級生と下級生が支え合い、協力し合ったりする異学年交流の場を様々な機会で開催、生徒の自己理解や他者理解、人間関係形成力の育成に取り組んでいます。また、このような取組を通して久山中学校の伝統や学校文化が継承され、発展していくと捉えています。本校で受け継がれてきた朝のボランティア活動も、新入生を交え行われるようになり、早朝より校舎周辺は大変気持ちよく掃き清められており、清々しい雰囲気になっています。



【朝のボランティア活動の様子】

身も心も中学生になる3日間 ～1学年宿泊体験学習の実施～

4月16日(火)～18日(木)の2泊3日の日程で、玄海少年自然の家にて1学年宿泊体験学習を実施しました。スローガンは「身も心も中学生になる3日間～みんなで守る「ルール」「マナー」「時間」」で、集団の一員としての自覚をもたせ、信頼関係や集団生活の大切さを学ばせること等を目的としています。

出発時、1日目は、1年生は自分本位の行動が多く、公共の場で集団生活する自覚や態度が不十分でした。指導される場面も多々ありましたが、そのたびに班長や係を中心に改善に努めました。2日目夜のキャンドルの集いでは、営火長のキャンドルの火が3つに分火され、実行委員が「協力」「責任」「友情」を力強く誓いました。その後3日目には、集合時に「静かにするよ」と呼びかけ合ったり、廊下で立ち止まって挨拶したりできるようになり、見違える姿へと成長を遂げました。帰着式では、残った課題を全員で確認し、これからの学校生活で改善することを約束しました。自然豊かな玄海の地で、仲間と関わりながら活動することで、1年生は自律に向けた基礎を確実に身に付けることができました。

なお、2日目の23時14分に豊後水道の地震で警報がなりました。その後、津波の心配がないことを、関係機関と確認し、保護者宛メールにてその旨お伝えしました。夜分のお知らせとなり、大変ご迷惑をおかけしました。気付いた生徒も数名いましたが、慌てることなく改めて睡眠につくことができました。



【2日目キャンドルの集いの様子】



【3日目フィールドワークの様子】

創造力の伸長 ～読み聞かせの実施～

4月24日(水)には、本町の読書ボランティア団体「〇の会」のご協力をいただき、読み聞かせを行いました。本町では、幼保小中で連携した子供読書活動推進に取り組んでいます。中学生が本に親しみ、読書を行うことで、ものの見方・考え方が広がり、豊かな感性や創造力が伸びることが期待されます。本校でも、朝読書や読書ボランティアによる読み聞かせ等を実施し、生徒が日常的に読書する習慣を定着させようとしています。目安として、一人あたり図書館での図書貸出冊数30冊を目指しています。保護者の皆様にはお子様の「家読」にご支援いただきますようお願いいたします。



【読み聞かせの様子】

保護者の皆様へ ご報告とお礼

<4月26日(金) 授業参観、職員紹介、部活動保護者会>

4月26日(金)に授業参観、職員紹介、部活動保護者会を実施し、各学級担任による教科の授業をご参観いただきました。生憎の雨天にもかかわらず、138世帯もの保護者の方にご来校いただきました。

部活動保護者会では、まず本町における部活動地域移行及び地域スポーツ団体の中学校総合体育大会への参加要件等のご説明させていただきました。その後、部活動毎に会場を移し、各部活動の活動方針や当面の予定等を顧問より説明させていただきました。本年度から、いわゆる働き方改革に伴い、時間外勤務時間を月45時間におさめることとなります。教職員のワーク・ライフ・バランスの向上をはかりつつ、本校としてもお子様の自己実現に向けた部活動をできる限り支援してまいりますので何卒、ご理解、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

併せて、当日各家庭に「いじめ早期発見・早期対応リーフレット」「一緒に取り組もう!! 不登校の未然防止と支援のための家庭の取組保護者のアクション3」(福岡県教育委員会)を配付しております。ご家庭でのお子様への見とりと支援にお役立ていただきますようお願いいたします。

<PTA総会書面実施>

4月16日(火)に令和6年度PTA総会議案を会員の皆様へ配付し、23日(火)までに書面決議書をご提出いただきました。誠にありがとうございました。その結果、全ての議案にご承認をいただきました。PTA新旧役員の皆様の尽力と会員の皆様のご理解のおかげで、本年度の活動を無事始動できます。今後も参加しやすい活動の工夫に努めてまいりますのでご協力の程お願いいたします。



【授業参観の様子】



【保護者のアクション3】